



危険物施設の 関係者の皆様へ



危険物施設の 漏洩事故対策について！

埋設配管や地下タンクからの漏えい事故は気が付きにくいいため、被害が大きくなりがちです。特に地下水に影響が出たときは、周辺の環境調査や健康調査も含め、環境改善費用は莫大なものになります。
消防機関の立入検査時に漏えいが発見されるケースが多くなっていますが、在庫管理や日常点検等で漏えいを自主的に発見することが大切です。

1 漏えいを早期に発見するためのポイント

早期に発見するためにはどうしたらいいの？



- ① 在庫管理による保管量の把握と、異常時におけるチェックの徹底
- ② 日常点検等で、漏えい検査官での漏えいの確認の徹底
- ③ 保安検査の徹底



※万が一、漏えい等を確認したときは、直ちに消防機関へ通報しましょう！

配管から漏えいしている状態

腐食によるピンホールが発生した状態



この機会に危険物の知識を深め
火災のない明るい街づくりに
ご協力ください

